

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

関市中央二期地区

令和4年9月

岐阜県関市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップ [※] による確定値	計測時期	フォローアップ [※] 時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標 1	観光施設入場者数	人	54,662	100,000	33,512	確定 見込み	● ●	△	あり なし	47,403	R4年8月	×	新型コロナウイルス感染症拡大の感染対策のため想定の目標値を下回った。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標数値より低い水準であるが、減少傾向の抑制は図られたと評価できる。
指標 2	健康づくりのしやすさ	%	34.8	37.0	39.0	確定 見込み	● ●	○	あり なし		R 年 月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	本事業が市民の健康づくりに貢献していることが評価値として確認できる。
指標 3	居住人口	人	13,969	13,323	13,501	確定 見込み	● ●	○	あり なし		R 年 月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	中心市街地において、継続して人口減少率を抑えることができており、目標値を達成している。
指標 4						確定 見込み	● ●		あり なし		R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標 5						確定 見込み	● ●		あり なし		R 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異が ある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の 別	達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の 数値指標 1	刃物会館の年間利用 者数	人	28,241			確定 見込み	●		77,901	R4年8月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	本事業の相乗効果も含めた施設として その他指標としているが、事業効果とし て発現していることが評価できる。
その他の 数値指標 2						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の 数値指標 3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式 2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	まちの活力向上やにぎわいの創出	刃物ミュージアム回廊整備として、観光案内所・刃物工房・多目的ホール・回廊の路・回廊の庭・トイレなどを整備した。	地域固有の産業を活かした中心市街地の「にぎわい創出」が形成できた。	中心市街地の商業施設の衰退、まちなかの活力低下に歯止めをかけるため、市街地の回遊性を向上させ、拠点施設を中心ににぎわい創出を図ることが課題である。
	健康づくりを促進する環境の創出	安桜山健康パーク(展望台)、関川沿いの遊歩道整備を行った。	中心市街地にウォーキングなど健康づくりがしやすい環境を創出できた。	市内に残る自然資源をかつようしつつ、市民の健康づくりに寄与するような設備を整備することで、今後の中心市街地のにぎわい形成につなげることが課題である。
	拠点間の連携強化・利便性向上による交通ネットワークの充実	西本郷一ツ山線(踏切信号交差点)の整備を行った。	幹線道路の接続整備により、交通のスムーズな循環及び通学路など歩行者が安全・安心に利用できる道路整備が出来た。	今後の利用状況を踏まえて、周辺交通ネットワークの充実につなげていく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	回遊性の向上による中心拠点のにぎわい創出	せきてらすを拠点として、まちなかに点在する商業施設や神社仏閣、関駅や文化会館などの施設を遊歩道でつなぎ回遊性を向上させる。	令和3年度より、都市再生整備計画(都市構造再編集中支援事業)として新規地区である「歩いて楽しい中心拠点地区」を開始。	中心市街地の商業施設の衰退、まちなかの活力低下に歯止めをかけるため、市街地に残る魅力ある自然・歴史・文化と触れ合う遊歩道の回遊性を向上させ、拠点施設を中心ににぎわい創出を図ることが課題である。
	まちなかの自然資源を活かした健康増進機会の充実	関川や安桜山周辺の自然、歴史、文化となる資源のつながりを強化するための遊歩道や市民の交流の場となる、ふれあい広場を整備する。	令和3年度より、都市再生整備計画(都市構造再編集中支援事業)として新規地区である「歩いて楽しい中心拠点地区」を開始。	中心市街地の商業施設の衰退、まちなかの活力低下に歯止めをかけるため、市街地に残る魅力ある自然・歴史・文化と触れ合う遊歩道の回遊性を向上させ、拠点施設を中心ににぎわい創出を図ることが課題である。
	まちなかを楽しく安全に歩ける歩行空間の創出	遊歩道の整備により、安全快適で楽しく歩きたくなる歩行空間を整備し、該当や防犯灯による安全向上を図る。	令和3年度より、都市再生整備計画(都市構造再編集中支援事業)として新規地区である「歩いて楽しい中心拠点地区」を開始。	中心市街地の商業施設の衰退、まちなかの活力低下に歯止めをかけるため、市街地に残る魅力ある自然・歴史・文化と触れ合う遊歩道の回遊性を向上させ、拠点施設を中心ににぎわい創出を図ることが課題である。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項